

科目名称	小児理学療法学
授業コード	BG330
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	眞保 実
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・運動発達障害を持つ子どもの理解と対応を学ぶ。 ・理学療法の実践に向けて正常運動発達の理解、反射、反応との関連性を学ぶ。 ・運動発達障害の臨床症状および発達の要素を取り入れた理学療法を療育サービス現場での実務経験を生かして講義する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> ・小児分野においてこれらに対する理学療法の臨床経験を持ち、必要な評価や治療の経験を講義できる ・運動発達をマイルストーンのとらえ方だけではなく、小児分野で実務経験のある教員が脳の成熟と運動の質を関連付けたとらえ方を講義する。 ・多様な障害像を示す脳性麻痺のとらえ方を、実務経験のある教員が障害の特徴と発達や生活への影響を含めた評価および治療を学ぶ。
到達目標	<p>本学科のディプロマ・ポリシーに掲げる医学的知識及び理学療法を十分に理解し、理学療法士としての基本的な臨床技能が実践できることを目標とする。具体的には以下の項目の習得を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動発達障害を持つ子どもへの理学療法に関する基本的知識、評価、治療法の考え方を身につける。 ・運動発達障害の理学療法に関する基礎レベルの問題であれば、自力で判断して解決できるようになる。 ・発達障害における様々な障害像の理解を通して医療人として幅広く豊かな人間観を獲得する。
計画・内容	<p>小児分野において実務経験を持つ理学療法士が担当する。</p> <p>第1回：オリエンテーション、子どもの理学療法概要 第2回：胎生期および新生児期について 第3回：脳の発達、姿勢反射および姿勢反応概要 第4回：原始反射・姿勢反射 第5回：姿勢反応 第6回：正常運動発達（背臥位・腹臥位） 第7回：正常運動発達（座位、立位） 第8回：正常運動発達（上肢、口腔機能） 第9回：発達評価（理学療法としての評価、評価バッテリー） 第10回：脳性麻痺総論（疾患特性） 第11回：脳性麻痺（痙直型四肢麻痺麻痺、痙直型両麻痺） 第12回：脳性麻痺（痙直型片麻痺。アテトーゼ型） 第13回：脳性麻痺の理学療法 第14回：整形外科疾患 第15回：整形外科疾患、まとめ</p>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使用した講義形式で行う。
能動的な学びの実施	該当しない
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にはタイトルまたはキーワードに関連した情報収集を行うこと。（各回30分） ・教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。（各回60分）

教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書：細田多穂監修、小児理学療法学テキスト改訂第3版、南江堂 ・必要に応じてプリントを配布する
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験（100％）
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、質問に応じる
オフィスアワー	Campus Square を参照
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使用したオンラインによる講義形式で行う。 <p>成績評価方法と基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験（100％）